●：実施主体　○：技術支援・共同実施

資料-1

具体的な取組の柱	事項	取組内容		目標時期	実施予定	実施する機関 三次市	安芸高田市	広島県	気象台	中国地整	状況	三次市 実施内容	時期	安芸高田市 実施内容	時期	広島県 実施内容	時期	気象台 実施内容	時期	中国地整 実施内容	時期
①迫り来る危機を認識した的確な避難行動のための取組																					
■大規模氾濫に対するタイムライン（防災計画）の更新																					
1	・大規模氾濫及び内水・土砂災害などの複合災害や夜間・荒天時を考慮したタイムラインの更新		A,B	H30年度																	
	1	・内水タイムラインの検討・見直し		H30年度	随時	○	○		○	●	実施状況	未報告		未報告				未報告		未実施	―
											今後の予定									令和７年度までに実施予定	R7年度
	2	・複合災害や夜間・荒天時などをタイムラインに反映		H30年度	随時	●	●	●	●	●	実施状況	多機関連携型タイムラインの検討において、複合災害を反映	随時	多機関連携型タイムラインの検討において、複合災害を反映	随時	未報告		多機関連携型タイムラインの検討において、複合災害を反映	随時	多機関連携型タイムラインの検討において、複合災害を反映	H30年度
											今後の予定							継続	随時	見直しの必要が生じた場合に実施	随時
	3	・大規模氾濫のタイムラインの検討・見直し		H30年度	随時	○	○	○	○	●	実施状況	大規模氾濫に対するタイムライン（防災行動計画）の更新	H30年度	大規模氾濫に対するタイムライン（防災行動計画）の更新	H30年度	大規模氾濫に対するタイムライン（防災行動計画）の更新	H30年度	大規模氾濫に対するタイムライン（防災行動計画）の更新	H30年度	大規模氾濫に対するタイムライン（防災行動計画）の更新	H30年度
											今後の予定									見直しの必要が生じた場合に実施	随時
	4	・多機関連携型タイムラインの検討・見直し		令和元年度	随時	●	●	●	●	●	実施状況	多機関連携型タイムラインの検討・見直し	R1年度	多機関連携型タイムラインの検討・見直し	R1年度	多機関連携型タイムラインの検討・見直し	R1年度	多機関連携型タイムラインの検討・見直し	R1年度	多機関連携型タイムラインの検討・見直し	R1年度
											今後の予定									見直しの必要が生じた場合に実施	随時
2	・住民が安全に避難するための避難指示等の発令基準の見直し・避難誘導体制の検討		C,D,E	H30年度																	
	1	・内水位の被害想定・情報提供基準の検討		H30年度	令和4年度～	○	○			●	実施状況	未報告		未報告						未実施	―
											今後の予定									令和７年度までに実施予定	R7年度
	2	・大規模氾濫の避難指示等発令基準の事例などの技術支援		H30年度	随時				●	●	実施状況							協議会、連絡会等の場を活用して、助言等の支援を実施	随時	協議会、連絡会等の場を活用して、助言等の支援を実施	随時
											今後の予定							継続	随時	継続	
	3	・避難誘導計画の事例提供・技術支援		H30年度	随時			○		●	実施状況					未報告				避難誘導計画における動画作成等、技術支援を実施	R4年度
											今後の予定									見直しの必要が生じた場合に実施	随時
	4	・避難指示の発令基準の見直し（大規模氾濫・内水）		H30年度	随時	●	●		○	○	実施状況	避難情報に関するガイドラインの改定に併せて、避難指示の発令基準を見直し	随時	避難情報に関するガイドラインの改定に併せて、避難指示の発令基準を見直し	随時			発令判断に必要な防災気象情報の解説を実施	随時	住民が安全に避難するための避難勧告等の発令基準の見直し	H29年度
											今後の予定							継続	随時	見直しの必要が生じた場合に実施	随時
	5	・避難誘導体制の検討		H30年度	随時	●	●	●			実施状況	避難行動要支援者の避難誘導体制について、自主防災組織や消防団と連携して検討	随時	随時、避難誘導体制を検討	随時	避難誘導体制の検討	H29年度				
											今後の予定										
■大規模水害に対応するﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟの作成・周知																					
3	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図及び新たに設定された家屋倒壊等氾濫想定区域を考慮した避難所の検討（広域避難所）		G,H,I	R1年度																	
	1	・国管理河川の想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表公開・周知		H28年度	随時					●	実施状況									浸水想定区域図公表	H28年度
											今後の予定									見直しの必要が生じた場合に実施	随時
	2	・広島県管理河川の想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表公開・周知		R1年度	随時			●			実施状況					県管理河川の洪水浸水想定区域図公表	R3年度				
											今後の予定										
	3	・土砂災害警戒区域等の公開・周知		R1年度	随時			●			実施状況					土砂災害警戒区域の公開・周知	H28年度				
											今後の予定										
	4	・避難所検討の事例提供・技術支援		H30年度	随時			○		●	実施状況					未報告				避難所検討の事例提供・技術支援	H29年度
											今後の予定									見直しの必要が生じた場合に実施	随時
	5	・洪水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設の抽出		H29年度	随時	●	●				実施状況	浸水想定区域内の要配慮者利用施設の抽出 浸水想定区域内の施設数及び避難計画策定済の施設数の共有	H28年度	浸水想定区域内の要配慮者利用施設の抽出 浸水想定区域内の施設数及び避難計画策定済の施設数の共有	H28年度						
											今後の予定										
	6	・避難所等の検討（応急的な避難場所の検討）		R1年度	随時	●	●				実施状況	避難所の根本的な見直し、避難所整備のための交付金の新設 避難所の根本的な見直し、自主防災組織が指定する地域避難場所整備のための交付金の新設 避難所の根本的な見直し	H30年度	浸水時緊急退避施設の選定	H28年度						
											今後の予定										
4	・内水氾濫・土砂災害を考慮した避難経路の検討		G,H,I	R1年度																	
	1	・過去の内水被害や地形データ等の資料提供		H30年度	随時					●	実施状況									過去の内水被害の資料提供済	随時
											今後の予定									必要が生じた場合に実施	随時
	2	・土砂災害警戒区域等の公開・周知		R1年度	随時			●			実施状況					土砂災害警戒区域の公開・周知	H28年度				
											今後の予定										
	3	・避難経路等の検討		R1年度	随時	●	●				実施状況	避難経路について、自主防災組織と連携して検討（図上訓練を通じて検討）	随時	避難経路について、自主防災組織と連携して検討	随時						
											今後の予定										
5	・洪水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援		L,M	H29年度から順次実施																	
	1	・気象情報の活用に係る技術支援		H29年度から順次実施	随時				●		実施状況							協議会、連絡会等の場を活用して、助言等の支援を実施	随時		
											今後の予定							継続	随時		
	2	・水害（土砂災害・内水含む）に係る技術支援		H30年度から順次実施	随時			○		●	実施状況					水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設への説明会 R4年度は，安芸高田市内において，要配慮者利用施設の管理者を対象に避難確保計画作成に関する講習会を実施	H28年度			洪水浸水想定区域内の要配慮者（社会福祉施設等）利用施設の管理者が策定する避難計画作成等の支援 浸水想定区域内（想定最大）の要配慮者施設数、避難確保計画尾作成及び避難訓練実施の施設数を整理	H29年度
											今後の予定									見直しの必要が生じた場合に実施	随時
	3	・策定全体に係る調整及び技術支援		H29年度から順次実施	随時	●	●				実施状況	要配慮者利用施設避難確保計画策定支援	H29年度	要配慮者利用施設避難確保計画策定支援	H29年度						
											今後の予定										
6	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸へ周知		F,G	R2年度	随時	●	●				実施状況	土砂災害ﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟの作成 Web版ﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟの作成	H29年度	Web版ﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟの構築 冊子版ﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟの作成し、各戸配布 Web版ﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟの更新	R1年度						
											今後の予定										
■住民の避難行動を支援する防災情報の提供																					
7	・関係機関による内水被害状況の共有		N	R1年度	随時	●	●	●		●	実施状況	関係機関の情報共有（メーリングリスト作成）	H28年度	関係機関の情報共有（メーリングリスト作成）	H28年度	関係機関の情報共有（メーリングリスト作成）	H28年度			関係機関の情報共有（メーリングリスト作成）	H28年度
											今後の予定									見直しの必要が生じた場合に実施	随時
8	・広域避難や事前水防活動等に資する長期水位予測（水害リスクライン）等の実施		B,N	H30年度	随時					●	実施状況									洪水予報発表の際に6時間先までの水位予測情報を提供開始、水害リスクラインを一般公開	R3年度
											今後の予定									見直しの必要が生じた場合に実施	随時
9	・緊急速報メールを活用したプッシュ型の洪水情報等の発信		J,K	H29年度から継続実施	随時					●	実施状況									緊急速報メールを活用した住民への情報提供 緊急速報メールを活用したプッシュ型の洪水情報等の情報発信 洪水予報に合わせて実施	H28年度
											今後の予定									継続	
10	・防災気象情報の改善		A	H29年度から継続実施	随時				●		実施状況							R4年度は大雨特別警報の改善や、線状降水帯予測情報の運用開始等を実施	H29年度		
											今後の予定							継続	随時		
11	・避難情報伝達手段の普及促進		J,K	H28年度から継続実施	随時	●	●				実施状況	多様な情報伝達手段の整備	H30年度	多様な避難情報の伝達手段（お太助フォン、緊急速報メール、市公式LINE等のSNS）について普及促進	随時						
											今後の予定										
12	・SNSを活用した情報提供等		A,B	継続実施	随時	●	●	●	●	●	実施状況	防災メール等により実施 防災メール、市公式SNS、サイレンの活用	H28年度	市公式LINE、Facebook、Twitter等の活用	H28年度	防災メール等により実施 防災メール，県防災Twitterの活用	H28年度	気象庁本庁で実施中	H28年度	洪水予報、水防警報等により実施 Twitterを用いた洪水時の河川情報や道路情報などの提供を実施	H28年度
											今後の予定							気象台からのSNS発信について検討中	R5年度	継続	

●：実施主体　○：技術支援・共同実施

資料-1

具体的な取組の柱	事項	取組内容		目標時期	実施予定	実施する機関 三次市	安芸高田市	広島県	気象台	中国地整	状況	三次市 実施内容	時期	安芸高田市 実施内容	時期	広島県 実施内容	時期	気象台 実施内容	時期	中国地整 実施内容	時期
②避難時間を確保する効果的な水防対策の取組																					
■河川管理施設を最大限活用するハード・ソフト対策の促進																					
13	・近年、外水による家屋浸水がある箇所の堤防整備流下能力の維持管理		W	R2年度	随時					●	実施状況									堤防整備（三次市門田地区） 樹木伐採・河道掘削 樹木伐採・河道掘削（寺戸地区、畠敷地区、南畑敷地区、十日市西地区、日下地区、向三原地区） **樹木伐採・河道掘削（三次地区、十日市地区）**	R4年度
											今後の予定									必要が生じた場合に実施	随時
14	・ダム下流の被害を軽減する流入量予測精度向上等による効率的な土師ダムの運用を実施		M	R2年度	随時					●	実施状況									未実施	―
											今後の予定									令和７年度までに実施予定	R7年度
15	・避難時間を確保する効果的な排水施設の運用の実施		N,R,S	H30年度	随時	●	○	○		●	実施状況	出水時には、排水ポンプの運用を実施	随時	樋門管理者等による開閉の実施	随時	国において排水能力が増強された畠敷救急内水排水機場（一級河川江の川水系馬洗川）の移管準備	R4年度			内水対策勉強会、排水ポンプ車の配備（台風16号）、排水ポンプ車カマ場等整備（常友岩の城排水樋門）	H28年度
											今後の予定					上記排水機場の管理				見直しの必要が生じた場合に実施	随時
16	・危機管理型水位計を用いた河川監視の強化・情報提供		N	H30年度 R2年度	随時					●	実施状況									江の川上流に危機管理型水位計を６８箇所設置	R2年度
											今後の予定									２１箇所増設	R5年度
17	・樋門・樋管等の施設の確実な運用体制の確保		P,S	H30年度	随時					●	実施状況									樋門の電動化（上原、上本町排水樋門）、台風接近時の陸閘門の閉鎖 ゲート操作の電動化や無動力化	R2年度
											今後の予定									必要が生じた場合に実施	随時
18	・河川管理の高度化の検討		O	H30年度	随時					●	実施状況									ＵＡＶ（ドローン）を活用した河川巡視 三次元管内図作成	R3年度
											今後の予定									必要が生じた場合に実施	随時
19	・簡易型河川監視カメラを用いた河川監視の強化・情報提供		N	R1年度	随時					●	実施状況									簡易型河川監視カメラの２６箇所整備 簡易型河川監視カメラ画像の配信	R2年度
											今後の予定									１５基増設	R5年度
■避難行動を支援する効率的な河川巡視・水防活動																					
20	・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認		Q	H29年度～ 継続実施	随時	●	●	●		●	実施状況	備蓄水防資機材情報は、消防団等と共有 非常時における相互支援方法は、「災害時の相互支援に関する協定書」に基づいて、県内市町村と確認	随時	備蓄水防資機材情報は、消防団等と共有 非常時における相互支援方法は、「災害時の相互支援に関する協定書」に基づいて、県内市町村と確認	随時	水防計画書に備蓄水防資機材情報を掲載・公表	H28年度			災害対策計画書に備蓄し水防資機材の掲載・公表 水防連絡会にて備蓄資機材情報の共有	毎年
											今後の予定									継続	
21	・局所的に低い堤防等の事前水防活動		O,P	順次実施																	
	1	・事前水防箇所の選定・資料提供		順次実施	随時					●	実施状況									自治体及び水防団との重要水防箇所の合同点検を実施	毎年
											今後の予定									継続	
	2	・事前対応の基準作成と役割分担		順次実施	随時	●	●			●	実施状況	土のう配布等の事前水防活動について、自主防災組織、消防団と連携して実施	随時	宅地の浸水等に対する水防活動について、消防団と連携して実施	随時					自治体及び水防団との合同点検により役割分担を確認済	毎年
											今後の予定									継続	
22	・関係機関による避難経路の被災状況の情報共有		H,M	H30年度																	
	1	・関係機関の情報共有方法の策定		H30年度	随時	●	●	●		●	実施状況	関係機関の情報共有（メーリングリスト作成）	H28年度	関係機関の情報共有（メーリングリスト作成）	H28年度	関係機関の情報共有（メーリングリスト作成）	H28年度			関係機関の情報共有（メーリングリスト作成）	H28年度
											今後の予定									見直しの必要が生じた場合に実施	随時
23	・関係機関が避難経路の安全性を確認しながら、効率的な水防活動と避難支援を行うための現地点検		M,O,P,Q	H31年度 (R1年度)																	
	1	・水防団の行動計画等の事例提供や技術支援		H30年度	随時					●	実施状況									計画策定の技術支援を実施	随時
											今後の予定									継続	
	2	・水防団の行動計画策定・見直し		H30年度	随時	●	●			○	実施状況	平時の巡視について、行動計画を策定	随時	消防団への待機要請について協議を実施し、行動計画を策定	随時					計画策定の技術支援を実施	随時
											今後の予定									継続	
	3	・現地点検の実施		H30年度	随時	●	●			○	実施状況	水防活動の訓練について、消防団と連携して実施 現地点検について、河川管理者との合同巡視（書面開催）に参加	随時	現地点検について、河川管理者との合同巡視（書面開催）に参加	随時					自治体及び水防団との重要水防箇所の合同点検を実施	毎年
											今後の予定									継続	
24	・水防に関する広報の充実（水防団確保に係る取組）		P	H30年度																	
	1	・水防に関する広報の充実		H30年度	随時	●	●			○	実施状況	『三次市流域治水検討会議』を設置	R3年度	水防について、HP等を通じて充実した広報を実施	随時					水防団募集のポスター・チラシ作成及び配布	毎年
											今後の予定									継続	
	2	・水防団確保に係る取組		H30年度	随時	●	●			○	実施状況	水防団確保について、HP等を通じて充実した広報を実施	随時	水防団確保について、HP等を通じて充実した広報を実施	随時					水防団募集のポスター・チラシ作成及び配布	毎年
											今後の予定									継続	
25	・水防団での連携、協力		P,Q	継続実施	随時	●	●			○	実施状況	出水時に連携	H28年度	出水時に連携	H28年度					出水時に連携	毎年
											今後の予定									継続	

●：実施主体　○：技術支援・共同実施

資料-1

具体的な取組の柱	事項	取組内容		目標時期	実施予定	実施する機関 三次市	安芸高田市	広島県	気象台	中国地整	状況	三次市 実施内容	三次市 時期	安芸高田市 実施内容	安芸高田市 時期	広島県 実施内容	広島県 時期	気象台 実施内容	気象台 時期	中国地整 実施内容	中国地整 時期
③水防災と地域社会を意識した防災教育の取組																					
■ 水防災を意識した防災教育の実施																					
26	・過去の災害や他河川の事例を用いた防災講習会等の開催		F,T,U	H30年度																	
	1	・過去の災害や他河川の災害事例による広報資料作成		H29年度	随時				○	●	実施状況							顕著現象時には気象速報を作成。R4年度は台風第14号について作成。	随時	過去の内水の浸水範囲（H18・H22・H30・R2・R3）作成	R4年度
											今後の予定							継続	随時	広報資料の作成	R7年度
	2	・防災講習会の開催		H30年度から順次実施	随時	●	●	○	○	●	実施状況	三次市地域防災リーダー研修会、三次市防災士研修会 出前講座の実施、防災士ネットワークの設立 出前講座の実施	H28年度	市職員及び市議会議員を対象にした想定最大規模の浸水想定に関する研修会 安全・安心フェスタの開催 地域防災リーダー養成講習会の開催、市長によるﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟ説明会の開催	H28年度	広島県防災リーダー研修会 気象防災ワークショップを実施、出前講座	H28年度	お天気ひろばの開催 R4年度は防災気象講演会を実施	R2年度	三次管内で開催されるイベントにて、防災啓蒙活動を実施、内水に関する出前講座、勉強会を実施	R4年度
											今後の予定							継続	随時	継続	
27	・タイムラインや避難訓練と連携した水防訓練の実施		V	H30年度																	
	1	・訓練事例及び訓練要領作成の技術支援		H29年度	随時				○	●	実施状況							R4年度は実績なし	随時	訓練ツールの作成	R4年度
											今後の予定							継続	随時	見直しの必要が生じた場合に実施	随時
	2	・訓練実施		H30年度から順次実施	毎年出水期前	●	●		○	○	実施状況	水害を想定した災害対策本部運営図上訓練 市内自主防災組織主体訓練の実施促進 自主防災組織主体訓練の実施促進、大規模洪水想定訓練の実施	H28年度	大規模災害を想定した災害対策本部運営図上訓練、外国人避難者を対象とした避難所運営訓練 災害時の外国人避難対応訓練の実施 市内自主防災組織主体訓練の実施促進、自主防災組織連絡会の開催	H28年度			防災機関等が企画実施する訓練に参加	随時	防災機関等が企画実施する訓練に参加	随時
											今後の予定							継続	随時	継続	
28	・地域住民・水防団との危険箇所や重要水防箇所の合同点検の実施		N,O,Q	H28年度から定期的に実施	毎年出水期前	○	○			●	実施状況	未報告		未報告						重要水防箇所の情報共有、水防資機材の情報共有	R4年度
											今後の予定									継続	
29	・小中学校などと連携した江の川上流の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の拡充		T,U	H29年度から順次実施																	
	1	・水害教育の実施		H29年度 順次実施	毎年	●	●	○	○	●	実施状況	市内小学校での防災教育を本格的に実施 （市内小学校21校のうち19校で実施）	R3年度	小学校や児童クラブを対象に、防災教育を実施	随時	未報告		広島県と連携して実施中。	随時	小学生を対象に川に関する出前講座を実施 小中学校などと連携した江の川上流の洪水の特徴を踏まえた水害（防災）教育の拡充 防災学習動画の作成	R4年度
											今後の予定							継続	随時	継続	
■ 地域の防災リスクを意識した住民参加型防災教育の実施																					
30	・ハザードマップやタイムラインを考慮した防災ワークショップの開催住民一人一人の避難計画（マイ・タイムライン）の普及		T	H30年度から順次実施																	
	1	・事例収集及び技術支援		H30年度	毎年					●	実施状況									支援ツール3種（用語集、講習会手引き、説明資料）の作成	R3年度
											今後の予定									見直しの必要が生じた場合に実施	随時
	2	・ワークショップの開催		H30年度	毎年	●	●			○	実施状況	防災ワークショップについて、広島県と連携して開催	随時	地域防災リーダー養成講習会の開催	R3年度					マイタイムライン講習会にて広島県及び各市と共同実施	―
											今後の予定									継続	
31	・水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた高齢者福祉部局との情報共有や避難訓練の実施		V	H30年度から定期的に実施																	
	1	・事例収集及び技術支援		H29年度	毎年					●	実施状況									避難行動啓発動画、電子版ﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟ解説動画の作成	R3年度
											今後の予定									見直しの必要が生じた場合に実施	随時
	2	・防災情報の共有		H30年度から定期的に実施	毎年	●	●			○	実施状況	要配慮者利用施設への防災情報の共有について、避難訓練と併せて実施	随時	個別避難計画作成に関する防災情報について、福祉部局と共有 特別養護老人ホームでの防災講話において、防災情報を共有	随時					避難行動啓発動画、電子版ﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟ解説動画の作成	R3年度
											今後の予定									見直しの必要が生じた場合に実施	随時
	3	・避難訓練の実施		H30年度から定期的に実施	毎年	●	●			○	実施状況	要配慮者利用施設における避難訓練を実施（令和４年度三次市大規模洪水想定訓練）	随時	特別養護老人ホームにおける避難訓練へ参加し、講評を実施	随時					避難訓練実施における技術支援実施	随時
											今後の予定									随時	
④異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能と情報の充実・強化																					
■ 異常豪雨の頻発化に備えたダムの情報の充実																					
32	・防災施設の機能に関する情報の充実		B	R1年度～	随時	○	○			●	実施状況	未報告		未報告						ダムの操作に関する情報提供等に関わる住民への説明・定例化	R4年度
											今後の予定									継続	
33	・ダム放流情報を活用した避難態勢の確立			R1年度～	随時	○	○			●	実施状況	未報告		未報告						避難勧告等の発令判断を支援するためのトップセミナーの実施・定例化 コロナ禍のため個別説明 避難勧告等の発令判断を支援するためのトップセミナーの実施・定例化	R1年度
											今後の予定									継続	
■ 異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能の充実																					
34	・ダム放流警報等の改良・耐水化		Z	R1年度～	令和5年度までに完了					●	実施状況									ダム放流警報設備の改良（警報所のスピーカの増設）・耐水化	R1年度
											今後の予定									継続	R5年度
35	・ダム等の洪水調節機能の向上・確保		Z	R1年度～	毎年					●	実施状況									未実施	―
											今後の予定									令和７年度までに実施予定	R7年度
その他：水害後の効率的な復旧・復興のための取組																					
■堤防の復旧を想定した水防資機材の確保																					
36	・堤防の復旧を想定した水防資機材の確保		Q	継続実施	毎年出水期前	●	●	○		●	実施状況	水防活動を実施するための水防資機材を確保	随時	水防活動を実施するための水防資機材を確保	随時	水防管理団体に対する水防資機材確保の支援	H28年度			緊急対策シミュレーションの実施により必要水防資機材の確認 三次管内に水防資機材の確保	R4年度
											今後の予定									継続	
■大規模災害を想定した排水作業準備計画（案）の作成																					
37	・大規模災害を想定した排水作業準備計画（案）の見直し		R	R1年度	毎年	○	○	○		●	実施状況	未報告		未報告		未報告				大規模災害を想定した排水作業準備計画（案）の作成	R1年度
											今後の予定									見直しの必要が生じた場合に実施	随時
■公益企業との勉強会の実施																					
38	・公益企業（電気・ガス・水道等）との勉強会の実施		T,U,V	H30年度																	
	1	・勉強会の開催		H30年度	毎年	●	●			○	実施状況	公益企業（電気）と連携した防災フェアを開催 不動産事業者へ水害リスクに関する情報を随時提供	随時	毎年出水期前に、公益企業（電気）と災害後の復旧について協議を実施 不動産事業者へ水害リスクに関する情報を随時提供	随時					勉強会等に必要な技術支援実施	随時
											今後の予定									随時	